



消防千葉

2021 No.580 令和3年2・3月号

令和3年3月1日 編集兼発行人

千葉県市原市菊間 783-1 千葉県消防学校内

公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅

TEL0436 (37) 1710

郵便番号 290-0007

ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>

メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



山の駅 養老溪谷 喜楽里（大多喜町）夷隅支部

巻 頭 言

「安全・安心で元気なまちづくりを目指して」

栄町消防本部 消防長 杉田 昭一



栄町は、千葉県の北部、利根川（坂東太郎）流域に隣接し、東は成田市、南は印旛沼、西は印西市、北は利根川を挟んで茨城県河内町に接し、成田国際空港へは10キロメートルの所に位置します。

総面積32.46平方キロメートルで東西に約12キロメートル、南北に約5キロメートルと鳥が飛んでいるような形に東西に細長く、東部には工業地域があるものの周囲を利根川・長門川・将監川などの河川と印旛沼に囲まれ、また、「房総風土記の丘」など緑が多く残っていることから、「水と緑の郷」として知られています。

当組織は、昭和60年4月に栄町役場総務課内に救急準備室を置き、翌年の7月に救急業務を開始しました。その後、平成6年10月に利根川スーパー堤防上に庁舎の建設を行い、栄町消防本部・消防署を発足しました。

現在は、1本部1署、職員46名と小規模ではありますが、消防の任務である町民の生命・身体・財産を守るため全力で取り組んでおります。

特に、火災予防対策については、町民の高齢化に重点を置き、火災による罹災者「ゼロ」を目標に、住宅用火災警報器の共同購入制度やそれに伴う取付け支援制度を取り入れ、各自治会などと連携しながら、相互に責任と役割分担を認識することで啓発をしています。

また、社会情勢の変化や数々の火災を教訓として、消防同意、防火管理体制、立入検査及び違反是正の強化を図り、業務の水準を高めております。

次に当消防本部の特徴としては、本来の火災、救急及び救助の業務を遂行することはもちろんのことですが、周囲を利根川、印旛沼といった河川に取り囲まれていることから、水災防ぎよに卓越した職員が多いことです。令和元年の台風15号、19号及び21号による豪雨では、当町も家屋の浸水や停電など多くの被害を受けました。また、利根川の水位が6.77メートルと戦後の観測史上7番目を記録し、全消防職員及び消防団員が出動しながら「表むしろ張り」や「捨て土のう」などの水防工法を駆使して対応しました。

結びに、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を願うとともに、都市型災害や地震、台風、集中豪雨などの自然災害に起因する災害の大規模化及び多様化に対応するため災害対応力の充実強化、超高齢化社会にむけてICTを利活用し、消防行政サービスの向上を目標に、職員一丸となり、郷土愛護の精神、隣保協働の精神を踏まえ、町民と一体となって、「安全・安心で元気なまちづくり」に取り組んでいきます。

令和2年度 消防団員指導員研修の開催

(11月28日(土)~29日(日))

新入団員や比較的経験の浅い消防団員の教育訓練にあたる消防団の副団長、分団長など幹部を対象にした指導員の養成研修が、11月28日から29日の2日間の日程により、千葉県消防学校において行われました。

研修には18所属、29名が参加し、28日9時から入校式が行われ、国歌演奏、入校生点呼の後、石橋消防協会長の式辞、山口県消防学校長及び吉野館山市消防団長の挨拶がありました。

その後、「研修指導・住民指導」や「幹部の心得」などの講義を受け、午後からは屋外訓練場において「訓練礼式」及び「火災防ぎょ・水災活動」の現地訓練を行いました。

29日は、8時半からの朝礼に続き、「訓練礼式」「救助活動・救命活動」及び「火災防ぎょ災」の研修を行い、午後3時半からの修了式で、全員が修了証書を受けて全課程を無事修了しました。



石橋会長式辞



山口消防学校長挨拶



吉野館山市消防団長挨拶



受講生の皆様



集合写真



訓練礼式



訓練礼式



訓練礼式



火災防ぎょ訓練



火災防ぎょ訓練



火災防ぎょ訓練



火災防ぎょ訓練



修了証書授与



荘司副会長挨拶

第170期 消防職員初任科生卒業式

千葉県消防学校

令和2年12月14日(月)、千葉県消防学校の消防職員初任科第170期の卒業式が行われました。7月の入学から6ヶ月、27所属129名の若々しい消防職員が厳しい研修を終了し、消火・救急救助知識及び技術を習得し、それぞれの職場に戻り、第一線で活躍することになります。

当日は、開式のことは、国歌演奏の後、各人が緊張した面持ちで卒業証書の授与を受け、最優秀賞1名、優秀賞13名、努力賞13名の表彰が行われ、山口千葉県消防学校長の告示、千葉県知事(代理石渡防災危機管理部長)・千葉県消防協会長(代理鈴木副会長)等の祝辞がありました。



山口学校長告示



知事(石渡防災危機管理部長)祝辞



会長(鈴木副会長)祝辞

また、11日(土)には、教育訓練の成果を確認するために9時30分から消防学校屋外訓練場において「実科査閲」が行われました。学生集合、通常点検、小隊訓練、救急訓練、体力向上体操、消防操法訓練、救助訓練、最後には火災防ぎょ活動の部隊行動を基本として、救出訓練と一斉放水訓練を実施し、初任科で習得した消防活動・救急活動の集大成として、全員により、火災防衛・救急救助技術を披露しました。



多年の労苦に輝く栄光

主な受章者の紹介

《春の叙勲 13名》

(瑞宝小綬章)

元 千葉市消防局	消防司監	北山 洋一	元 香取広域市町村圏事務組合消防本部		
元 松戸市消防局	消防正監	佐久間峰男		消防正監	篠塚 正悟
			元 柏市消防局	消防正監	長妻 力

(瑞宝双光章)

元 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部			元 東金市消防団	団 長	布留川博保
	消防正監	名和 富男			

(瑞宝单光章)

元 四街道市消防団	分 団 長	井岡 廣實	元 山武市消防団	副 団 長	船津 浩信
元 いすみ市消防団	副 団 長	石井 敏雄	元 八千代市消防団	団 長	安原 健吉
元 船橋市消防団	副 団 長	鈴木 定雄	元 松戸市消防団	副 団 長	吉岡 常夫
元 長生郡市広域市町村圏組合消防団					
	分 団 長	粒良 忠勝			

《秋の叙勲 11名》

(瑞宝小綬章)

元 千葉市消防局	消防正監	飯塚 正則	元 八千代市消防本部	消防正監	常岡 正良
元 香取広域市町村圏事務組合消防本部					
	消防正監	大久保 巖			

(瑞宝双光章)

元 勝浦市消防団	団 長	渡邊 浩臣
----------	-----	-------

(瑞宝单光章)

元 御宿町消防団	団 長	井上 和美	元 南房総市消防団	団 長	鈴木 勝一
元 香取広域市町村圏事務組合香取市消防団			元 柏市消防団	副 団 長	丹治 満
	副 団 長	今泉 雅申	元 佐原市外五町消防組合下総消防団		
元 長生郡市広域市町村圏組合消防団				団 長	椿 久治
	団 長	小高 一夫	元 船橋市消防団	団 長	渡辺 義博

《第34回危険業務従事者叙勲 33名》

(瑞宝双光章)

元 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部	消防司令長	麻生 修	元 匝瑳市横芝光町消防組合消防本部	消防監	林 秀郎
元 浦安市消防本部	消防司令長	宇田川雄造	元 松戸市消防局	消防監	判澤 勉
元 富里市消防本部	消防監	大木 隆義	元 我孫子市消防本部	消防司令長	平川 進
元 習志野市消防本部	消防監	大堀 祐基	元 我孫子市消防本部	消防監	藤根 勉
元 成田市消防本部	消防監	小貫 和雄	元 銚子市消防本部	消防監	宮内 忠
元 鎌ヶ谷市消防本部	消防監	川島正二郎	元 長生郡市広域市町村圏組合消防本部		
元 柏市消防局	消防監	菊地 芳男		消防監	村松 仁
元 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部			元 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部		
	消防司令長	末吉 富榮		消防監	目良 健一
元 君津市消防本部	消防司令長	鈴木 秀実	元 香取広域市町村圏事務組合消防本部		
元 山武郡市広域行政組合消防本部				消防監	八木 悟
	消防監	鈴木 豊	元 八千代市消防本部	消防監	山口 彰
元 松戸市消防局	消防監	館野 健夫	元 印西地区消防組合消防本部		
元 流山市消防本部	消防司令長	戸部 富雄		消防司令長	綿貫 茂
元 富津市消防本部	消防司令長	中山 二郎			

(瑞宝单光章)

元 千葉市消防局 消防司令補 井上 誠
 元 山武郡市広域行政組合消防本部
 消防司令長 伊橋 茂
 元 船橋市消防局 消防司令長 海老沼 誠
 元 千葉市消防局 消防司令 桂 明陽
 元 千葉市消防局 消防司令 鈴木 信行
 元 八千代市消防本部 消防司令長 藤ヶ崎三郎

元 香取広域市町村圏事務組合消防本部
 消防司令長 布施 久雄
 元 千葉市消防局 消防司令 三上 勇一
 元 長生郡市広域市町村圏組合消防本部
 消防司令長 三橋 敏弘
 元 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部
 消防司令長 渡邊 賢

《第35回危険業務従事者叙勲32名》

(瑞宝双光章)

元 市川市消防局 消防監 相田 修
 元 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部
 消防司令長 乾 浩一
 元 千葉市消防局 消防正監 大塚 和政
 元 銚子市消防本部 消防監 加藤 和美
 元 千葉市消防局 消防監 加藤喜代次
 元 市川市消防局 消防司令長 川村 隆藏
 元 印西地区消防組合消防本部
 消防監 後藤 朝夫
 元 袖ヶ浦市消防本部 消防監 小林 好

元 長生郡市広域市町村圏組合消防本部
 消防監 富澤 勝彦
 元 松戸市消防局 消防監 中村 智示
 元 四街道市消防本部 消防監 橋本 政美
 元 君津市消防本部 消防監 前田 佳暁
 元 長生郡市広域市町村圏組合消防本部
 消防監 松崎 繁
 元 富津市消防本部 消防司令長 三富 薫
 元 千葉市消防局 消防正監 緑川 好文
 元 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部
 消防監 山本 稔

(瑞宝单光章)

元 富里市消防本部 消防司令長 伊藤 正則
 元 柏市消防局 消防司令長 猪田 文夫
 元 野田市消防本部 消防司令 上原 久夫
 元 香取広域市町村圏事務組合消防本部
 消防司令長 江嶋 和巳
 元 印西地区消防組合消防本部
 消防司令長 海老原 篤
 元 八千代市消防本部 消防司令長 菊地 俊夫
 元 香取広域市町村圏事務組合消防本部
 消防司令長 日下部幹男
 元 香取広域市町村圏事務組合消防本部
 消防司令 久保木隆夫

元 山武郡市広域行政組合消防本部
 消防司令長 鈴木 弘
 元 八千代市消防本部 消防司令長 征矢 隆
 元 習志野市消防本部 消防司令長 富樫 政雄
 元 我孫子市消防本部 消防司令長 長島 操
 元 千葉市消防局 消防司令 中村 好一
 元 野田市消防本部 消防司令長 松坂 信男
 元 香取広域市町村圏事務組合消防本部
 消防司令長 三ツ橋喜一
 元 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部
 消防司令長 渡辺 幸治

《春の褒章2名》

(藍綬褒章)

船橋市消防団 副団長 宍倉由紀雄

野田市消防団 団長 染谷 賢一

《秋の褒章5名》

(藍綬褒章)

富里市消防団 副団長 秋葉 修
 東金市消防団 団長 植松 一夫
 野田市消防団 副団長 逆井 健一

千葉市消防団 副団長 鈴木 順繁
 成田市消防団 副団長 中川 浩史

《文化の日千葉県功労者表彰3名》

富津市消防団 団長 石井 輝之
 富里市消防本部 消防司令長 伊藤 裕之

(一社)千葉県消防設備協会
 理事 金子 公久



消防防災科学技術賞

応募受付期間

≫ 令和3.4.1(木)
~4.22(木)

■募集区分

- | | |
|------------------|------------------|
| ▼消防職員・消防団員等の部 | ▼一般の部 |
| A. 消防防災機器等の開発・改良 | D. 消防防災機器等の開発・改良 |
| B. 消防防災科学論文 | E. 消防防災科学論文 |
| C. 原因調査事例 | |

■表彰

優れた作品には、令和3年11月に行われる表彰式(東京都内にて開催予定)において消防庁長官より表彰状及び副賞を授与します。

- 6月頃に、応募作品の「概要」が消防研究センターホームページで公開されます。
- 表彰者は、9月頃に決定・公表される予定です。
- 詳細は、消防研究センターホームページ(<http://nrifd.fdma.go.jp>)をご覧ください。

令和2年度受賞作品



救急KYTシートの開発



電気プラグのプラスチック中の赤リンの検証



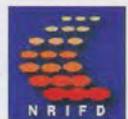
異常燃焼が火災に発展した石油ストーブの構造不具合に関する調査報告



消防団ポンプ車訓練シミュレーター～安全で確実な送水を当たり前ものにするために～

■連絡先

消防庁 消防研究センター 研究企画室
 TEL : 0422-44-8331 FAX : 0422-42-7719
 E-mail : hyosho2021@fri.go.jp
 消防研究センターホームページ : <http://nrifd.fdma.go.jp>



令和3年度 消防防災科学技術賞の作品募集

消防庁 消防研究センター

消防防災機器等の開発・改良、消防防災科学に関する論文及び原因調査に関する事例報告の分野において、優れた業績をあげた等の個人又は団体を消防庁長官が表彰することにより、消防防災科学技術の高度化と消防防災活動の活性化に資することを目的として、「消防防災機器等の開発・改良」、「消防防災科学論文」および「消防職員における原因調査事例」を募集いたします。皆様の一層のご応募をお待ちいたしております。

【応募区分】

- 消防職員・消防団員等の部
 - A. 消防防災機器等の開発・改良
 - B. 消防防災科学論文
 - C. 消防職員における原因調査事例
- 一般の部
 - D. 消防防災機器等の開発・改良
 - E. 消防防災科学論文

【応募受付期間】

令和3年4月1日(木)～4月22日(木)
消印有効

【表彰】

優れた作品には、令和3年11月に行われる表彰式(東京都内)において、消防庁長官より表彰状及び副賞を授与します。

表彰件数は次のとおりです。

消防防災科学技術賞

応募受付期間
 >> 令和3.4.1(木) ~ 4.22(木)

■ 応募区分

- ▼ 消防職員・消防団員等の部
 - A. 消防防災機器等の開発・改良
 - B. 消防防災科学論文
 - C. 原因調査事例
- ▼ 一般の部
 - D. 消防防災機器等の開発・改良
 - E. 消防防災科学論文

■ 表彰
 優れた作品には、令和3年11月に行われる表彰式(東京都内)にて副賞(予定)において消防庁長官より表彰状及び副賞を授与します。

● 対象は、本邦に在住の個人又は団体です。
 ● 詳細は、消防研究センターホームページをご覧ください。
 ● 募集は、消防研究センターホームページ(<http://nrifd.fdma.go.jp>)をご覧ください。

令和2年度受賞作品

■ 連絡先
 消防庁 消防研究センター 研究企画室
 TEL: 0422-44-8331 FAX: 0422-42-7719
 E-mail: hyosho2021@fri.go.jp
 消防研究センターホームページ <http://nrifd.fdma.go.jp>

優秀賞

消防職員・消防団員等の部における消防防災機器等の開発・改良	5件以内
消防職員・消防団員等の部における消防防災科学論文	10件以内
消防職員における原因調査事例	5件以内
一般の部における消防防災機器等の開発・改良	5件以内
一般の部における消防防災科学論文	5件以内

奨励賞

消防防災機器等の開発・改良、消防防災科学論文 及び 原因調査事例	3件以内
----------------------------------	------

- ・6月頃に、応募作品の「概要」が消防研究センターホームページで公開されます。
- ・表彰者は、9月頃に決定・公表される予定です。
- ・詳細は、消防研究センターホームページ(<http://nrifd.fdma.go.jp>)をご覧ください。

連絡先

消防庁 消防研究センター 研究企画室
 TEL: 0422-44-8331
 E-mail: hyosho2021@fri.go.jp

東 西 南 北

消防協力者に感謝状を贈呈 習志野市消防本部

習志野市消防本部では、令和2年9月15日(火)心肺停止傷病者を救った消防協力者に対し、感謝状贈呈式を行いました。

当事案は、令和2年7月16日(木)習志野市内の路上にて、60代の男性が心肺停止状態となり、消防協力者2名及び市立袖ヶ浦こども園職員が迅速に119番通報、胸骨圧迫及びAEDを実施したことにより、救急車内では心拍が再開し、「救命の連鎖」が引き継がれ、男性の社会復帰につながりました。

このことから、社会復帰事案及び応急手当に対し、この功績を称え消防協力者2名及び市立袖ヶ浦こども園に消防長より感謝状を贈呈したものです。



地域防災として今できること 市原市消防局

市原市では、昨年の台風による大雨、河川の氾濫及び浸水、更には竜巻などにより甚大な被害を受けました。

コロナ禍でも、容赦なく発生する災害に備え、「消防団として今できることは何か」を考え、マスク及びフェイスシールドを着用し、参加団員数を約400名程度に制限するなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた上で災害対応訓練を実施しました。

訓練は、9月20日(日)に市原市の南北2会場に分け、高滝ダム管理事務所の協力により提供いただいた砂を利用し、消防団員が生業のため保有する油圧ショベルやダンプトラックを用いて移送を行うなど、各分団が連携して約2600袋の土のうを作成し、市内の86ヶ所にある器具置場に配備しました。

また、今年度配備予定の無線デモ機を活用して、消防団本部と支団指揮本部が逐次連携をとり、各分団の活動状況や土のうの配備状況を報告し指揮命令系統のとれた実戦的な訓練でした。

昨年の災害で受けた被害を教訓に「地域防災として今できること」を考え、今後は「withコロナ」の新しい生活様式に対応した活動が必要であると痛感しました。



「STOP! 通電火災!!」啓発活動実施 柏市消防局旭町消防署

柏市消防局旭町消防署は、令和2年9月21日(月)の敬老の日にあわせ、商業施設「クリエイトエスディー 柏西原店」で、新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、高齢者をターゲットとした防火・防災啓発活動を実施しました。

柏市では震災時における通電火災を防ぐため「感震ブレーカー設置補助金交付事業」を展開しており、今回のイベントでは多くの市民が関心を寄せました。今後も市民の防火防災意識の向上を図るとともに、地域に密着したイベントを開催し、市民の安心安全を守っていきます。



東 西 北 「市民見学会」を開催 東 南 北 千葉市消防局

千葉市消防局では、9月26日(土)千葉市消防総合センターで、消防隊・救助隊や消防ヘリコプター「おおとり」の訓練見学、地震体験などが出来る見学会を開催しました。

安心して見学会に参加していただくため、来場者を200人に制限するとともに、手指消毒やソーシャルディスタンスの確保などの感染予防対策を徹底しました。

今年初の市民見学会は、約10カ月ぶりの開催であったため来場者から沢山の拍手をもらい大盛況でした。



東 西 北 令和2年度 特殊災害対応訓練 東 南 北 松戸市消防局

松戸市消防局では、令和2年10月2日に松戸運動公園において、松戸市消防局、松戸警察署、松戸東警察署、松戸市立総合医療センター、千葉西総合病院、松戸市役所危機管理課の148名により、野球場でのグルメイベント準備中にプロパンガスボンベが爆発し、多数の負傷者が発生したとの想定により訓練を実施しました。

爆発事故では、広範囲にわたり衝撃波が伝わり、多数の負傷者が発生するとともに、爆傷と呼ばれるさまざまな外傷を受けるため、医療機関と連携を図り、迅速な救護活動体制を整えなければなりません。

この訓練では、負傷者の迅速な搬送やトリアージなどの他、広範囲にわたる被害状況の確認が必要となり、実際のスポーツ施設を使うことによって、より実践的に訓練を実施することができました。



東 西 北 国際消防救助隊派遣携行資機材のメンテナンス会を実施 東 南 北 柏市消防局

令和2年10月6日(火)柏市の大堀川防災レクリエーション公園において、国際消防救助隊に登録する千葉県内の7本部(当番市柏市)が連携し、千葉県内では初となる派遣携行資機材のメンテナンス会を開催しました。

被災国での活動時、資機材に不具合が生じた場合でも自らメンテナンスを行い、限られた資機材で最大限の能力を発揮できる活動技術とともにメンテナンス技術の向上を目的に、独立行政法人国際協力機構「JICA」が主催するメンテナンス会経験者(5名)が指導員となり、40名の隊員が参加しました。

メンテナンスは、4ブースを設け「ダイヤモンドチェーンソー」、「ダブルブレードカッター」、「電磁波人命探査装置」及び「画像探査装置」の、使用時の留意事項と故障時におけるメンテナンスのポイントについて、確認と伝達を実施しました。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、制限のある実施方法となりましたが、今後も県内で協力し知識・技術を磨いてまいります。



東西南北 可搬式制御機器(SSCモバイル)を導入した給油取扱所の完成検査を実施 佐倉市八街市酒々井町消防組合

佐倉市八街市酒々井町消防組合では、令和2年10月21日(水)に管内(八街市)ガソリンスタンドの全面改修に係る変更許可に伴う完成検査及び現地確認を実施しました。

このセルフガソリンスタンドは、業務効率化の向上、危険物の規制に関する規則の一部改正(消防危第87号、令和2年4月1日施行)に伴い当組合管内初の可搬式制御機器(SSCモバイル(タブレット型制御機器))が導入されました。当日は、消防本部予防課、査察調査課及び八街消防署とともに、セルフサービスコンソール等変更箇所を検査し、固定泡消火設備を実際に起動させ放射能力範囲等を確認しました。



東西南北 第7回救急活動想定訓練競技会を開催 船橋市消防局

船橋市消防局では、傷病者の病態に応じた病院前救護に必要な知識及び技術の更なる向上を目的とした、「第7回救急活動想定訓練競技会」を10月20日(火)～10月22日(木)に実施しました。

この競技会は、救急隊ごとに、新型コロナウイルス感染症防止対策など今般の情勢を念頭に置き、実際に起こりうる症例を想定し、適切な判断や処置が迅速かつ的確に行われていたか客観的な評価のもとで競い合いました。

競技会の審査は、各消防署長、救急課長により“接遇、隊員間の情報共有や安全管理”の他、指導救命士による“観察、判断力、処置の正確性及びスピード感”の評価に分けられ、その合計点により各日の成績上位3隊を決定いたしました。

船橋市消防局では、これからも指導救命士を核とした救急業務に携わる質の高い職員教育・訓練等に取り組み、市民から信頼される救急隊員の育成に努めてまいります。



東西南北 竣工検査を活用した消防用設備等取扱い訓練を実施 千葉市消防局

千葉市消防局美浜消防署では令和2年10月22日(木)に、管内で建設中のタワーマンション(48階建て)の竣工検査に合わせて、建築会社等の協力の下、連結送水管の加圧送水装置(プースターポンプ)を作動させての高層階への送水訓練と、非常用エレベータの切り替え(一次消防・二次消防)操作訓練を実施し、併せて各設備の取扱いに係る動画撮影を行いました。

特にプースターポンプを作動させての送水は、建物の竣工後に訓練を実施することは難しく、今回は貴重な機会であったことから、撮影した動画を用いた教養資料を作成し、コロナ禍においても実施可能なりモート研修等に活用して広く周知することで、職員の災害対応のための知識・技術の向上を図ります。



東西南北 令和2年度警防技術大会を開催

千葉県消防局

千葉県消防局では、令和2年10月26日、27日に千葉県消防総合センターで警防技術大会を開催しました。本大会は先着部隊2隊7名で活動する部隊訓練と勤務年数7年以下の職員を対象に防火服、空気呼吸器の着脱やロープ結索等の技術を競う個人訓練を実施し、2日間で120名が参加しました。

部隊訓練は、1日目に一般住宅火災、2日目に共同住宅火災を想定し、実践的な訓練を実施することができました。



東西南北 令和2年度予防技術検定事前講習会を開催

佐倉市八街市酒々井町消防組合

当消防組合では、令和2年11月6日に予防技術検定事前講習会を消防本部講堂にて開催しました。

この講習会では、一般財団法人消防防災科学センター消防支援室より審議役大賀覚氏を講師に招き、予防技術検定受検対策のため、当消防組合及び県内の3消防本部26名が参加しました。また、コロナ禍での開催のため、ソーシャルディスタンスの確保、手指消毒、体温検知カメラでの体温測定、換気などの対策を徹底して行いました。



東西南北 子どもたちの救命リレー「119番の日」

柏市消防局旭町消防署

柏市消防局旭町消防署では、11月9日「119番の日」に、市内の小学生を対象とした救命講習を実施しました。

本市は、2013年に県内初の「ジュニア救命士制度」を設け、小学校5、6年生の授業に救命講習を取り入れることにより、幼少期のうちから命の大切さや救命法を子どもたちに根付かせています。ジュニア救命士として認定を受けた子どもたちからは「人が目の前で倒れたら勇気を出して大きな声で助けを呼び、救急車が来るまで命をつなげます。」と、力強い決意が感じられました。これからも柏市教育委員会と連携し、子どもたちに命の尊さを教育していきます。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

令和 3年 3月

- 1日 ・千葉県消防大会(中止)
- 5日 ・全国消防大会・役員会(中止)
- 中旬 ・定時理事会
- 下旬 ・臨時評議員会



2020年度 全国統一防火標語
「その火事を 防ぐあなたに 金メダル」

<表紙の説明>

山の駅 養老溪谷 喜楽里（大多喜町）夷隅支部

令和2年8月1日、大多喜町養老溪谷観光センターが「山の駅 養老溪谷 喜楽里^{きらり}」としてリニューアルオープンしました。

養老溪谷観光センター運営共同企業体が大多喜町から指定管理を受けて、運営をしています。

大型駐車場、お手洗い、休憩スペースなどがあり、地域の観光案内やお土産、地場産品、キッチンカーによるハンバーガーの販売がされております。

また、土日祝日にはあゆの塩焼きの販売も行っています。

紅葉のシーズンには、バイカーの方など多くの人たちで、より一層の賑わいを見せています。



<記事の訂正について>

令和2年12月号・令和3年1月号の5ページ、「佐倉市消防団長 齋藤達弥」と記載すべきところ誤りがありましたので、お詫びして訂正します。